

令和7年度 篠ノ井支所発地域力向上支援金事業【採択事業】

	団体名	事業名	事業概要	補助金 内示額 (円)
1	芝沢区第一常会	道路側溝コンクリート蓋脱着機の購入による堰さらいの負担軽減事業	(目的)堰さらいは側溝蓋脱着作業の負荷が高く、また、回収順の関係で他常会より早い作業も求められている。高齢化も進んでいることから、コンクリート蓋脱着機を購入し課題改善を図る。(内容)作業効率上2～3班に1台購入し、講習会を実施。 (効果)一人で楽に、より安全に作業ができるようになり、二人がかりの時と比べ作業効率は各段に向上するため、回収時刻にも余裕を持つことができ作業負荷を軽減できる。	100,000
2	杵淵区	杵淵区防犯灯整備事業	(目的)小学校の正式通学路でもある無灯火区間に防犯灯を新設する。 (内容)区間内に電柱等がないため、各々引込用鋼管ポールを建て4灯同時に新設する。 (効果)下校時や夜間の交通事故抑止、不審者の出没等を未然に抑え、安全な通学及び生活環境を確立できる。また、更なる通学路の安全確保に向けきめ細やかな対策を講じる事ができる。	140,000
3	御幣川祭事会	伝統ある地域文化の祭事継承事業	(目的)御幣川区は祭事が多く備品の使用頻度が高い。長期使用により非常に見劣りしていた備品を更新し、地域の文化と伝統である祭事を今後も継続的に実施できるよう環境を整える。 (内容)提灯の新調、灯籠の張替、LED型ろうそくの購入。 (効果)更新された備品が多く地域の住民の目に触れることにより、地域行事への理解が深まり興味が生まれ、祭事の継続的な開催が見込める。高強度で安全性の高い製品を選択し、長期使用に耐え、ランニングコストを抑えながら安全性を高める。	180,000

【特記事項】杵淵区防犯灯整備事業の選定理由

1 補助金の優先順位

支所発地域力向上支援金事業Q&Aに、「他の補助制度の対象となるものについては、その制度を優先」との記載がある。防犯灯整備に係る経費については「防犯灯整備事業補助金」があり、本来は、同補助金を優先して利用することになる。

2 申請に至った経過

杵淵区では、小学校の正式通学路でもある生活道路に無灯火区間があり、保護者や地域住民から毎年要望が出ていたが、引き込みポールの新設が必要で費用が嵩むため積立を実施してきた。本年度、事業予算として区総会等の承認を受け、地権者の同意も得たが、昨今の物価や人件費の上昇なども影響してか、確保した予算では不足することが分った。犯灯整備事業補助金は1地区1灯のみで例外はなく、交通事故、誘拐や不審者出没等がいつ発生するか分からないことから、早急に防犯対策としての防犯灯を設置する必要があると、支所発地域力向上支援金を申請することとなった。

3 選定した理由

原則は防犯灯整備事業補助金を利用するところであるが、Q&Aには、「ただし、他の制度では採択の順番が何年間も回ってこないといった緊急性や適時性などに課題がある場合は、ご相談ください。」との記載もある。
区では自己資金により対応しようとしていたが、予算不足のためやむを得ず補助金申請をしたもので、その緊急性や重要性に加え通学路であることも考慮し、今回、特別に選定したものである。
なお、防犯灯の設置経費は、原則として防犯灯整備事業補助金を利用することに変更はなく、各区においては計画的に整備していただき、支所発地域力向上支援金を当初から見込んでの防犯灯整備に対しては交付しない。